

「全国財務局管内経済情勢報告概要」の主なポイント (令和4年7月判断)

財務省

令和4年7月27日

地域経済の概況（令和4年7月判断）

1. 各地域の経済情勢

- 各財務局管内の経済情勢を示す「総括判断」は、6地域で「上方修正」、5地域で「据え置き」。
 - 供給面での制約や原材料価格高騰の影響がみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響が緩やかになるなか、「緩やかに持ち直している」や「持ち直しつつある」などとしている。
- 各財務局の個別項目の判断
 - 「個人消費」は、6地域で「上方修正」、5地域で「据え置き」。
 - 「生産活動」は、1地域で「上方修正」、8地域で「据え置き」、2地域で「下方修正」。（沖縄の「観光」は、「上方修正」）
 - 「雇用情勢」は、7地域で「上方修正」、4地域で「据え置き」。

2. 全局総括判断

- 地域経済に関する各財務局の報告をとりまとめると、
 - 「個人消費」は、緩やかに持ち直している。
 - 「生産活動」は、供給面での制約や原材料価格高騰の影響がみられるものの、持ち直している。
 - 「雇用情勢」は、持ち直しつつある。
- これらを踏まえ、「全局総括判断」は、前回（4年4月）から判断を「据え置き」とした。
- 先行きについては、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念されるなか、原材料価格の上昇や供給面での制約、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。

	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	基調比較
全局 総括判断	新型コロナウイルス感染症や、供給面での制約、原材料価格高騰の影響が引き続きみられるなか、一部に弱さがみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	供給面での制約や原材料価格高騰の影響が引き続きみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	 据え置き (表現変更)

(注1) 4年7月判断は、前回4月判断以降、7月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

(注2) 下線部が基調判断。

各地域の「総括判断」の比較

	令和4年4月判断		令和4年7月判断	
全局	新型コロナウイルス感染症や、供給面での制約、原材料価格高騰の影響が引き続きみられるなか、一部に弱さがみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	⇒ 〔表現変更〕	供給面での制約や原材料価格高騰の影響が引き続きみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	⇒ 〔表現変更〕
北海道	新型コロナウイルス感染症や供給面での制約、原材料価格上昇の影響がみられるなか、 <u>一進一退の状況にある</u>	⇒	<u>緩やかに持ち直しつつある</u>	↗
東北	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、 <u>持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	⇒	<u>緩やかに持ち直している</u>	↗
関東	新型コロナウイルス感染症や、供給面での制約の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	⇒ 〔表現変更〕	供給面での制約の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	⇒ 〔表現変更〕
北陸	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	⇒	<u>緩やかに持ち直している</u>	⇒ 〔表現変更〕
東海	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、 <u>不安定ながらも緩やかに回復している</u>	⇒	<u>緩やかに回復している</u>	⇒ 〔表現変更〕
近畿	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、 <u>持ち直している</u>	⇒	<u>持ち直している</u>	⇒ 〔表現変更〕
中国	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	⇒	<u>緩やかに持ち直している</u>	⇒ 〔表現変更〕
四国	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、 <u>持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	⇒	<u>持ち直しつつある</u>	↗
九州	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一部に弱さがみられるものの、 <u>持ち直しつつある</u>	⇒ 〔表現変更〕	<u>緩やかに持ち直している</u>	↗
福岡	新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるなか、一部に弱さがみられるものの、 <u>持ち直しつつある</u>	⇒ 〔表現変更〕	<u>緩やかに持ち直している</u>	↗
沖縄	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポに一服感がみられる</u>	⇒	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、 <u>持ち直しつつある</u>	↗

(注1) 下線部が基調判断。 (注2) 矢印は、前回との基調比較。

各地域の「個別項目」の比較

個人消費

生産活動 ※沖縄は「観光」

雇用情勢

	前回 (令和4年4月判断)	今回 (令和4年7月判断)		前回 (令和4年4月判断)	今回 (令和4年7月判断)		前回 (令和4年4月判断)	今回 (令和4年7月判断)	
北海道	感染症の影響が続くなか、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	緩やかに持ち直しつつある	▲	足踏みの状況にある	足踏みの状況にある	⇒	感染症の影響が続くなか、持ち直しの兆しがみられる	感染症の影響が引き続きみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	▲
東北	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、持ち直しのテンポが緩やかになっている	緩やかに持ち直している	▲	持ち直している	持ち直している	⇒	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	持ち直しつつある	⇒ (表現変更)
関東	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒ (表現変更)	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	⇒	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	持ち直している	▲
北陸	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	持ち直しつつある	⇒ (表現変更)	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	⇒	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	▲
東海	一部に弱さがあるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱さがあるものの、緩やかに持ち直している	⇒	供給面での制約等の影響がみられるなか、自動車関連を中心に回復の動きに一服感がみられる	供給面での制約等の影響がみられるなか、自動車関連を中心に回復の動きに一服感がみられる	⇒	感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	▲
近畿	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒ (表現変更)	持ち直している	持ち直しの動きに一服感がみられる	▼	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直しつつある	⇒ (表現変更)
中国	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある	緩やかに持ち直している	▲	供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直している	供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている	▼	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	▲
四国	感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しつつある	▲	持ち直しのテンポが緩やかになっている	持ち直しのテンポが緩やかになっている	⇒	感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	持ち直しつつある	⇒ (表現変更)
九州	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	▲	一部に弱さがみられるものの、持ち直している	持ち直している	⇒ (表現変更)	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒ (表現変更)
福岡	新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるものの、持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	▲	一進一退の状況にある	一進一退の状況にある	⇒	新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある	▲
沖縄	感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	⇒ (表現変更)	感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる	感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	▲	感染症の影響により、弱い動きとなっている	持ち直しつつある	▲

「個別項目」の特徴的な動向

1. 個人消費 ※ 6地域で「上方修正」、5地域（関東、北陸、東海、近畿、沖縄）で「据え置き」

- 「スーパー販売」は、内食需要の定着による飲食料品が引き続き堅調であるほか、外出機会の増加から衣料品も持ち直している。
- 「百貨店販売」は、外出機会の増加に伴い、衣料品が好調。
- 「コンビニエンスストア販売」は、行楽需要など人出の増加を背景に、米飯類等の飲食料品を中心に堅調に推移。
- 「ドラッグストア販売」は、飲食料品を中心に引き続き堅調であるほか、外出機会の増加により、化粧品も回復傾向にある。
- 「家電販売」は、エアコン需要がみられるものの、一部の商品に巣ごもり需要等の落ち着きがみられるなど、弱い動きとなっている。
- 「新車販売」は、引き続き供給面の制約の影響により、弱い動きとなっている。
- 財務局のヒアリングによると、宿泊や飲食等のサービス消費は、まん延防止等重点措置の解除以降、特にGWを中心に客数が回復し、持ち直しつつある。

2. 生産活動 ※ 1地域（沖縄）で「上方修正」、8地域で「据え置き」、2地域（近畿、中国）で「下方修正」

- 「自動車」は、半導体などの部品供給不足等に伴う減産により、低調となっている。
- 「生産用機械」は、一部で供給制約の影響がみられるものの、半導体製造装置を中心に引き続き堅調。
- 「電子部品・デバイス」は、自動車減産の影響を受けて、一部で車載向けに弱い動きがみられるものの、家電向けを中心に引き続き堅調。

3. 雇用情勢 ※ 7地域で「上方修正」、4地域（東北、近畿、四国、九州）で「据え置き」

- 感染状況の落ち着きを受けて経済活動の再開とともに、製造業・非製造業において、人手不足解消の観点から、求人が増加している。
- 他方、全体として人手不足感が強まるなか、他社との競合により必要人員を充足できない企業もみられる。

企業等の主な声

個人消費

< 財消費 >

- 外出機会の増加により衣料品の売れ行きが好調。気温の上昇により夏物衣料も好調となった。【スーパー・大・中国】
- これまで高額商品、食料品が売上を下支えしていたが、外出機会の増加により、買い控えていたファッション関連（衣料品）に動きが出てきている。【百貨店・大・福岡】
- 行動制約が緩和されたことにより、人の動きにあわせて売れていく弁当や飲料水の売上が伸びている。【コンビニ・中堅・北海道】
- 巣ごもり需要が弱まったことで食料品の売上が鈍くなっている一方、アルコール類の販売は堅調であるほか、まん延防止等重点措置の解除による外出機会の増加に伴い、化粧品の売上が回復傾向にある。【ドラッグストア・中小・関東】
- 電気料金の値上がりが、省エネ家電へ買い替える動機となっている。【家電販売・大・九州】
- 自動車の受注は堅調に推移しているものの、納車の長期化が深刻。当面、納期期間の長期化による販売台数の低迷は続くと思われる。【自動車・中堅・東海】

< サービス消費 >

- 旅行全体としては厳しい状況が継続しているが、感染の落ち着きに伴い、旅行需要は確実に戻ってきており、夏休みの予約も好調であるなど国内旅行を中心に持ち直している。【旅行・中堅・近畿】
- 通常、5月はGW以外は宿泊施設の稼働が落ちて底値の時期であるが、今年は4月以降上向きの状況。7月、8月は、目標値の稼働率が70%を確実に超えることが見えている。【宿泊・中堅・沖縄】

生産活動

- 長引く半導体不足のほか、上海のロックダウンは解除されたものの、現地生産が滞っており、依然として部品調達が困難。今期も取引先の減産が相次いでおり、前期以上に厳しい状況。【輸送機械・大・近畿】
- 半導体製造装置について、4-6月期における生産台数は高水準の生産が続いている。顧客の地域別では、中国、韓国、台湾などアジア向け中心。7-9月期は、さらに生産水準が高まる見通し。グループ全体で生産の平準化を図り、生産限界台数を高めた。【生産用機械・大・北陸】
- 経済活動の再開に伴い、国内外で需要が回復しているものの、半導体等の部品調達に支障が出ている影響を受け、生産量が減少している。【生産用機械・中堅・中国】
- 電子部品について、5G拡大によるデータセンター向けのほか、スマホ向け、ゲーム機向けの受注が堅調。【電子部品・デバイス・中小・東北】
- 中国における経済活動の抑制などの影響により、部品の入荷遅れが発生し、生産工程に影響が出ている。【電気機械・中堅・四国】
- 半導体不足の影響が継続しているほか、上海ロックダウンにより部材調達が困難となり、主力製品の生産量は大きく減少している。【電気機械・大・関東】
- 車や建築用の塗料について、自動車減産の影響で生産調整を行ったものの、中国のロックダウンの影響により当社において代替生産を行うこととなったため、稼働率は上昇している。【化学・石油製品・大・九州】

雇用情勢

- 製造業向けの労働者派遣業やビルのメンテナンス・清掃を行う警備業からの求人が多くみられた。【公的機関・東海】
- 宿泊施設の稼働率回復に伴い人手が不足している。コロナの影響で離職した穴を補填する形での採用を考えており、経験者の中途採用は常に行っている。ただ、人件費などで条件に合致せず採用に至らないことも多い。【宿泊・中堅・福岡】
- 経済活動の再開により、小売以外の業種も含めて人材の取り合いになっている。【小売・中堅・北陸】

注)各財務局は企業等へのヒアリングを主に6月中旬から7月中旬にかけて実施。

各地域の「先行き」（令和4年7月）

北海道	先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、感染症の影響や原材料価格の上昇、供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要がある。
東北	先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、原材料価格の上昇等による下振れリスクに十分注意する必要がある。
関東	先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化がみられる中で、原材料価格の上昇や供給面での制約による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響や為替の動向を注視する必要がある。
北陸	先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。
東海	先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が緩やかに回復していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。
近畿	先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化等が懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、感染症による影響や金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。
中国	先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。
四国	先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化等が懸念される中で、原材料価格の上昇や供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。
九州	先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。
福岡	先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。
沖縄	先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。

問い合わせ先

財務省大臣官房総合政策課

東京都千代田区霞が関3丁目1番1号

Tel. 03-3581-4111 (内線) 2252, 2225

財務省ホームページ <https://www.mof.go.jp/>